

## 質問文

---

- 1.学校の教育目標や方針が教育の中で大切にされている。
- 2.教育目標を具現する教育について、学校からの説明が十分である。
- 3.学校の教育目標でかかげた理想に近づくような教育が実施されている。
- 4.学科やコース別の教育がお子様の成長に生かされている。
- 5.学習習慣や学習意欲が身に付くための指導が行なわれている。
- 6.教員は教材や教授法に工夫を凝らし、丁寧で分かりやすい授業に努めている。
- 7.授業の進み方が適切で、授業につまずかないように配慮されている。
- 8.朝学習、小テスト、習熟度別授業などにより学習効果が上がっている。
- 9.礼法、服装、頭髪などの基本的な生活習慣を遵守する指導を徹底している。
- 10.教員は、学校で発生する問題を見逃さず対応してくれている。
- 11.悩みや困ったことがあった時、教員(担任以外を含めて)に相談することができる。
- 12.授業や課外学習などの学校の学習で、希望する大学受験に対応できる。
- 13.進路および学習指導に関する説明会・懇談などが充実している。
- 14.部活動は充実している。
- 15.合宿講習、修学旅行、柏葉祭、記録会などの学校行事・校外活動がお子様の成長に寄与している。
- 16.担任は家庭との連絡を大切にしている。
- 17.ホームページの内容は十分であり、タイミングよく適切な情報が提供されている。
- 18.お子様が家庭で学校の話をすることが多い。
- 19.現在の担任の指導に満足している。
- 20.現在の学年の運営に満足している。
- 21.教職員は、職務にふさわしい服装、節度ある行動、態度がとれている。
- 22.学校の防犯、防災をはじめとする安全管理は充実している。
- 23.学校は、病気予防・保健衛生の対策をしっかりとっている。
- 24.系列の千葉商科大学に進学させたいと思う。

# アンケート結果のポイント化

## ○ 設問のポイント化手法

各質問項目の評価は、以下のポイント数による加重平均を活用

「当てはまる」に、+3点

「やや当てはまる」に、+1点

「あまり当てはまらない」に、-1点

「当てはまらない」に、-3点

※全回答数から「わからない」の回答数を省き、加重平均を実施して、ポイントを算出

## ○ ポイントの評価目安

+2以上	大半の回答者が高い評価をした項目
+1以上	2/3以上の回答者が肯定的である評価の高い項目
+0.4~+0.9	半数強の回答者が肯定的である項目
-0.3~+0.3	肯定、否定が拮抗した不満の芽となる要注意項目
-0.9~-0.4	否定的な回答者が多い不満解消を検討すべき項目
-1以下	2/3以上の回答者が否定的な不満の大きい改善を要する項目
-2以下	大半の回答者が低い評価をし、すぐにでも改善を要する項目

# 保護者アンケートの相関係数

## ○ 相関係数の算出方法

- ・保護者アンケートでは、質問Aによって、学校経営の様々な項目の満足度評価を確認し、質問Bにて、学校への総合満足度を確認する。
- ・質問Bの総合満足度の結果が、質問Aの各項目に影響を受けているか否かの係数が「相関係数」として算出される。
- ・相関係数は、原則として $-1 \sim +1$ の実数となり、相関係数が正のときには正の相関が、負のときには負の相関がある。

## ○ 相関係数の目安

+0.50～1	強い正の相関がある項目
+0.01～0.49	弱い正の相関がある項目
0	相関がない項目
-0.01～-0.49	弱い負の相関がある項目
-0.50～-1	強い負の相関がある項目

## ○ 相関係数の表示

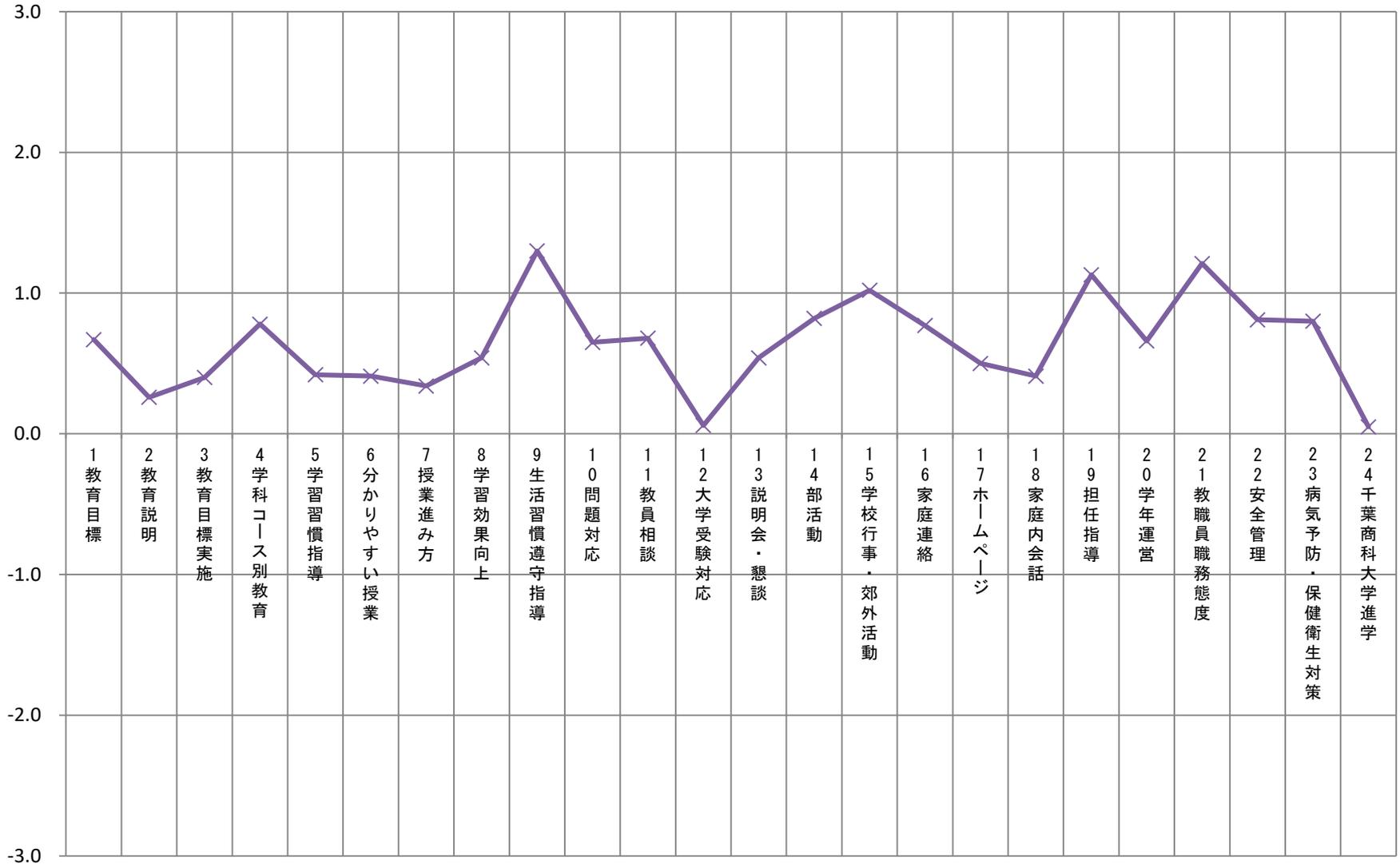
- ・相関係数は、グラフ集の「保護者満足度順位」の折れ線グラフ及び集計表に表示

---

## 保護者 調査分析結果

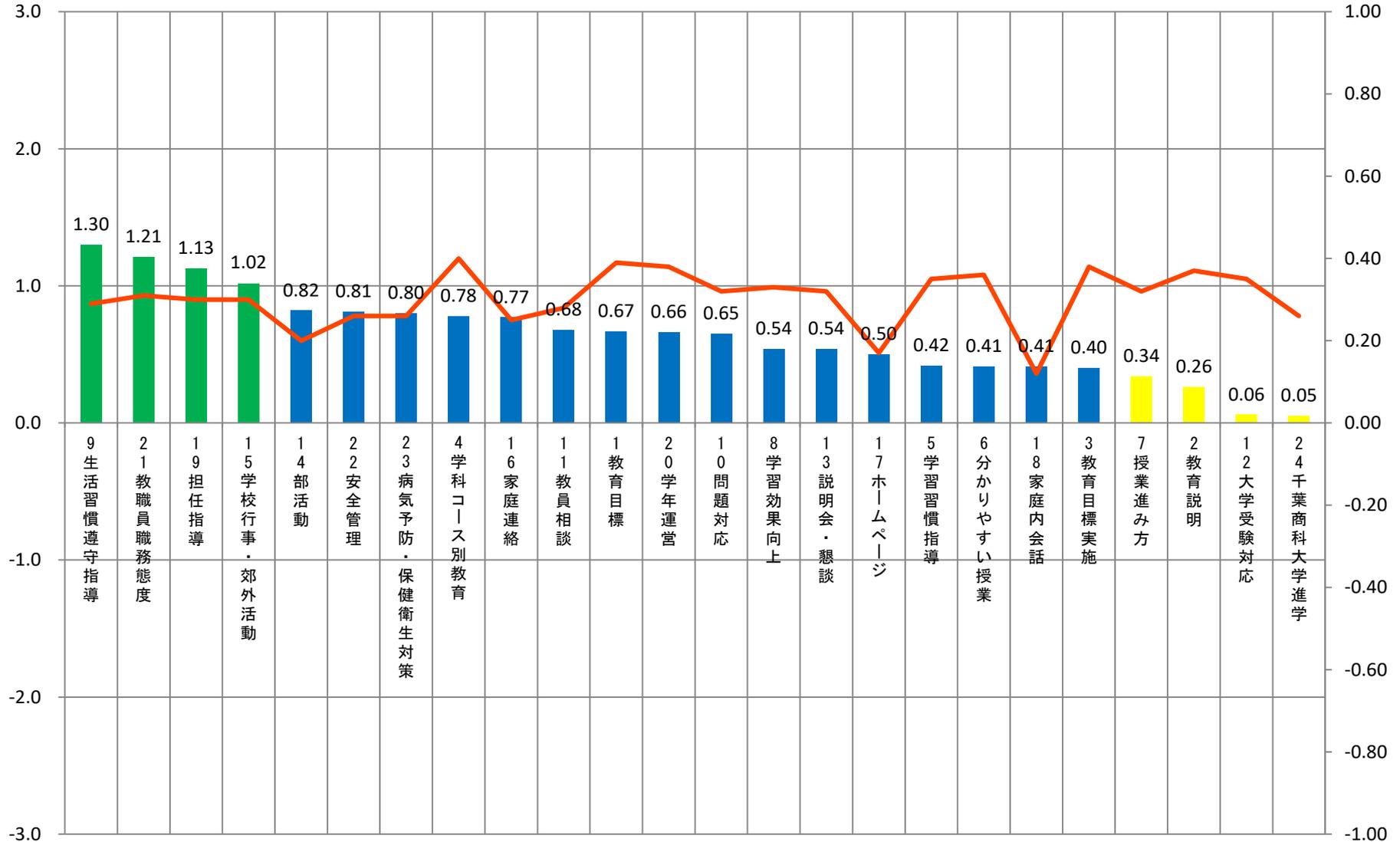


# 2017年度 保護者結果(質問A)



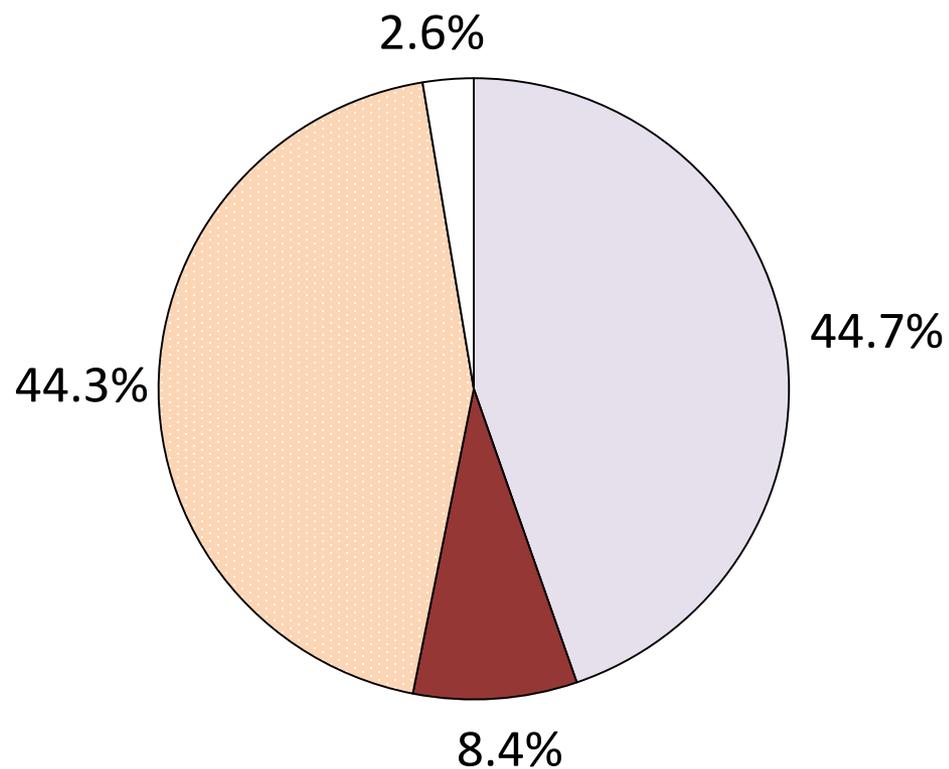
—x— 2017

# 2017年度 保護者の満足度順位



## 2017年度 保護者全体

(質問B:あなたは、本校への入学を親戚, 友人, 知人に勧めますか?)



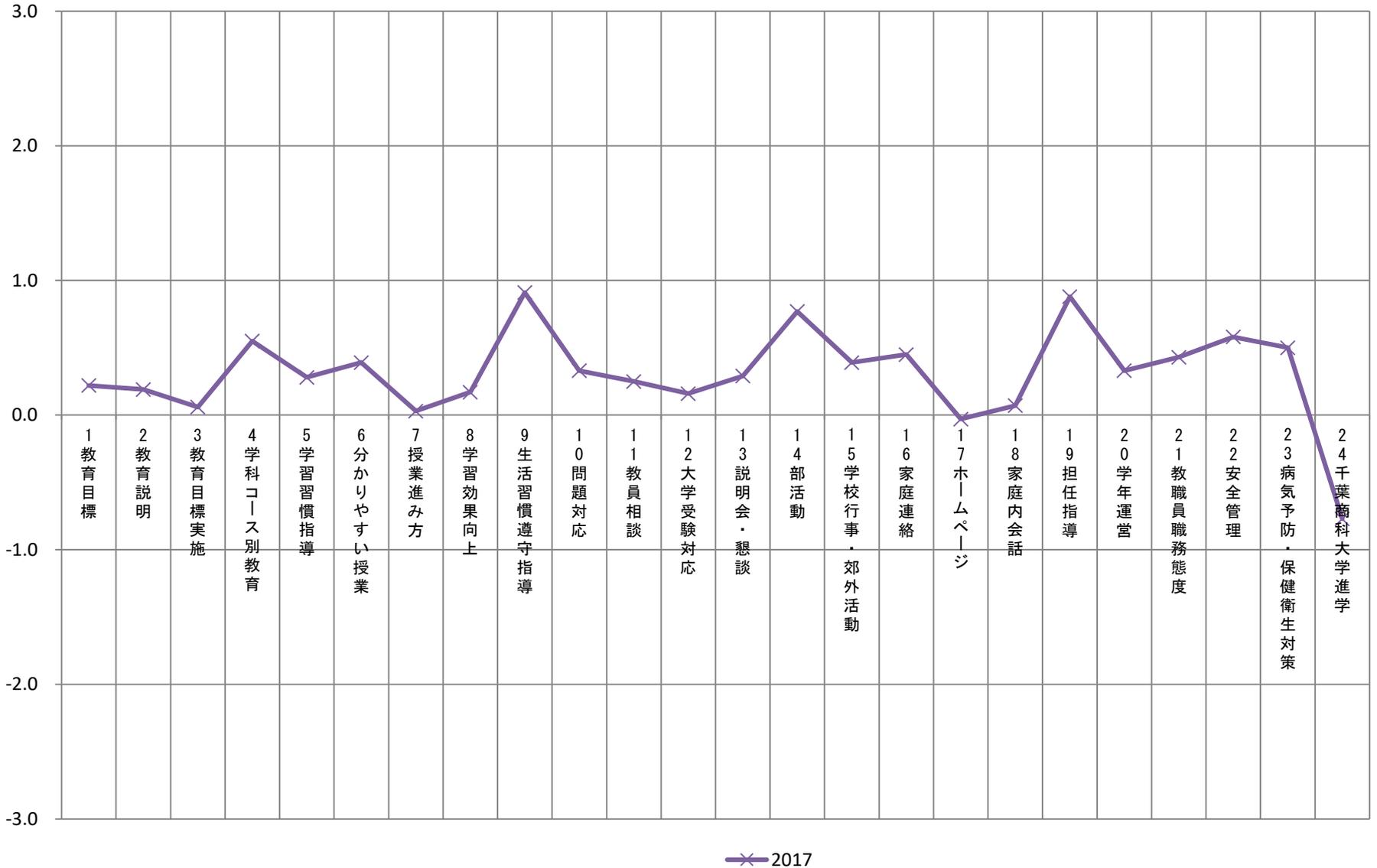
□ はい ■ いいえ □ どちらともいえない □ 無効

---

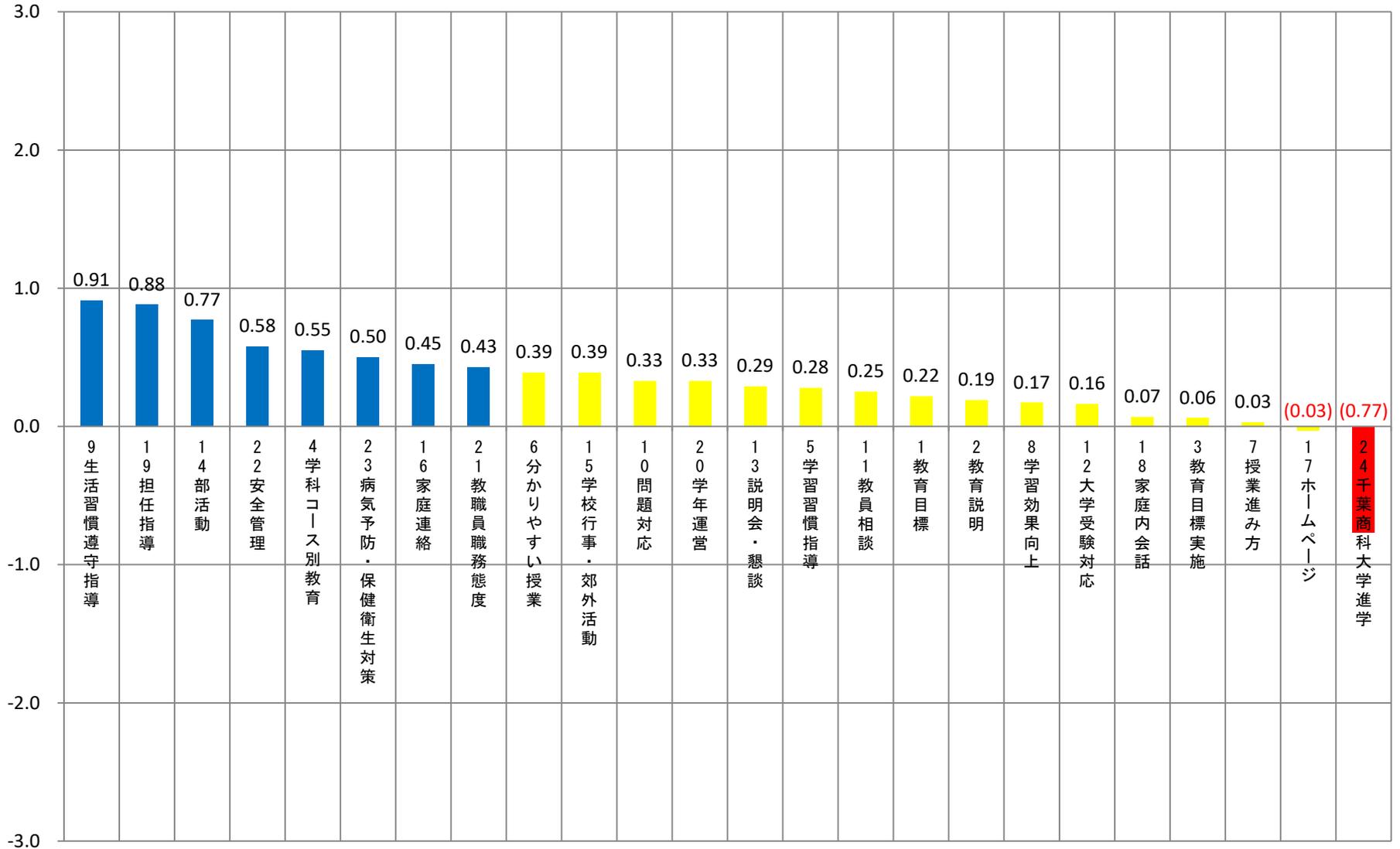
## 在校生 調査分析結果



# 2017年度 在校生結果(質問A)



# 2017年度 在校生の満足度順位

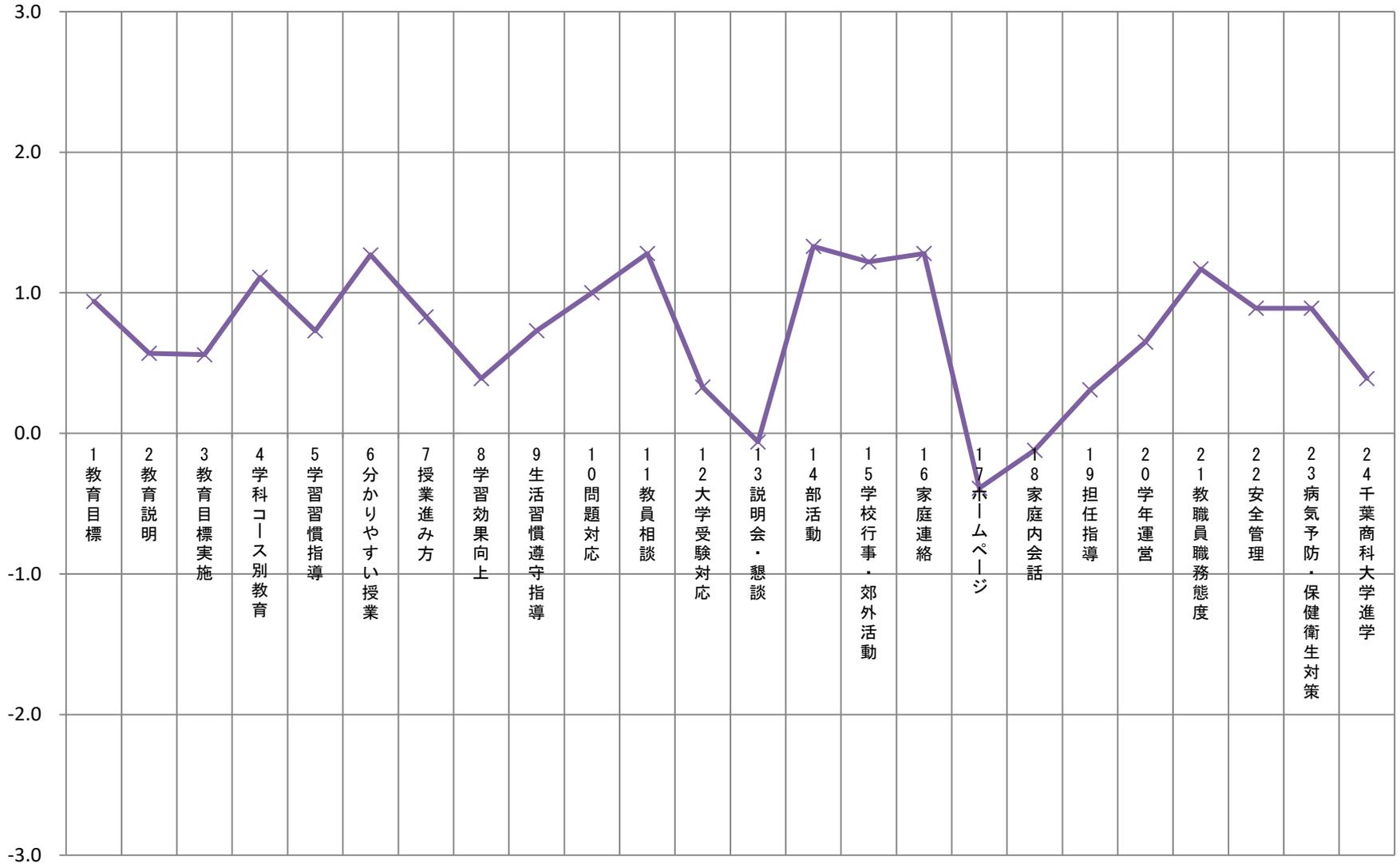


---

## 教員 調査分析結果



# 2017年度 教員結果(質問A)



# 2017年度 教員の満足度順位

